

プロジェクト写真



施設概要

構造・階数：木造・2階建て
 建築面積：3,724.44㎡
 延べ面積：3,999.07㎡
 最高の高さ：11.81m
 最高の軒の高さ：6.49m
 所在地：東松島市野蒜ヶ丘二丁目
 完成：2016年12月
 材料：地域産スギ材、ヒノキ材
 製材：501.8㎡(構造材のみ)



製作メンバー

設計：意匠・監理/株式会社 盛総合設計
 協力 意匠・監理協力/シーラカンスケーアードエイチ 株式会社
 構造・監理協力/株式会社 佐藤淳構造設計事務所
 設備・監理協力/株式会社 仙台総合設備計画
 施工者：住友林業 株式会社 住宅事業部 仙台営業所
 株式会社 ユアテック 石巻営業所(電気設備工事)
 山下設備工業 株式会社(機械設備工事) 他
 木材供給：株式会社 シェルター、株式会社 篠原商店、株式会社 ヤマムラ
 プレカット：さんぼく、株式会社 山大

協議会 取り組み

東日本大震災により甚大な被害を受けた野蒜小学校と宮戸小学校を統合し、新たに造成された野蒜ヶ丘に誕生した森と海の小学校。

構造材及び内装材に地域産の木材利用を目指し、土台はヒノキ材、柱、梁はスギ材、一部 ヤング係数 90 が必要となる梁にヒノキ材を使用している。

また、被災地の職人不足に配慮し、予め工場で寸法や継ぎ手を加工するプレカットで対応可能な設計とした。

設計趣旨

1. 森と海の学校

震災で傷ついた子ども達の心を癒し毎日笑顔で通える学校づくりを目指し、復興の森との連携・一体感を重視、学校内に森を引き込む計画をコンセプトとし、平屋建ての教室棟、管理棟、図書棟が中庭を取り囲み、2階建ての特別教室棟、体育館をつなぎ回遊性のある配置を目指した。

2. オール木造校舎の実現

アレルギーや感染症の発生率が少ないといったデータ、日本の森の資源の活用に加え、何よりも木の持つ癒し効果から震災で傷ついた子どもにとって木造の校舎がベストであるとの結論に至り、宮城県では初となるオール木造校舎を実現。

3. 騒音対策

航空自衛隊松島基地の戦闘機の騒音に対し、音響設計の先生に協力をいただき質量の大きな材料を組み合わせることで鉄筋コンクリート造と遜色のない防音性能を実現。

4. 防火性能

住宅局建築防災課長通達「部分により構造を異にする建築物の棟の解釈について」を適用し、主要構造部を耐火構造とした建築物の部分と木造とした建築物の部分とを構造的に別の棟にすることによって、建築物の一棟の延べ面積の規模に応じて適用される規定の運用を、それぞれ1,000㎡未満の別の棟として木造校舎を実現。

設計者



【設計・監理】

所属：株式会社盛総合設計

名前：栗原 憲昭

【監理】

所属：株式会社盛総合設計

名前：真壁 深、森谷 敦



【意匠・監理】

所属：株式会社盛総合設計

名前：武田 忠義

【意匠】

所属：株式会社盛総合設計

名前：佐藤 純弥

アクセス

住所：
東松島市野
蒜ヶ丘二丁
目

